

第66回「電波の日」東北総合通信局長表彰

【個人】

(敬称略:五十音順)

| 被表彰者 | 主な功績 |
|------------------------------------|---|
| なかむら しょうじ 中村 昌司 岩手県電波適正利用推進員 | 岩手県電波適正利用推進員協議会幹事などの要職を歴任し、電波の適正な利用に関する知識の周知啓発に取り組み、永年にわたり電波利用環境の保護に多大な貢献をされました。 |
| ふかせ まさあき 深瀬 政秋 弘前大学名誉教授 | 地域振興用システムのデジタル化に関する調査検討会の座長として技術的条件を取りまとめ、周波数の有効利用を図るとともに、海上利用における安心・安全と地域産業の発展を支援する高度な通信システムの実現に多大な貢献をされました。 |

【団体】

(敬称略:五十音順)

| 被表彰団体 | 主な功績 |
|--|--|
| 釜石無線漁業協同組合 (代表理事組合長 しまかわ ゆきお 幸雄) | 東日本大震災により被災した漁業用海岸局の不感海域を解消し漁業者の安全を確保するため、広範囲かつ迅速な情報伝達が可能となる統合海岸局を新たに整備し、基幹産業である水産業の早期復興に尽力するなど、電波の有効利用に多大な貢献をされました。 |
| 一般社団法人 全国船舶無線協会東北支部 (支部長 ちば きんしろう 三四郎) | 多年にわたり電波法令の周知や登録検査等事業者の育成に取り組むとともに、船舶無線局免許の電子申請の効率化のために種々の工夫を行い、東北管内の電子申請の普及・促進に多大な貢献をされました。 |
| 特定非営利活動法人 日本地域放送支援機構 (理事長 たまい ひさし 恒) | 平成27年9月関東・東北豪雨などにおいて、臨時災害放送局の開設・運営支援を行い、コミュニティ放送局と災害支援のための連携協力体制を構築するなど、地域の安心・安全の向上に多大な貢献をされました。 |
| 株式会社宮城テレビ放送 (代表取締役社長 いとう かずあき 和明) | 放送分野における情報バリアフリーの拡充を目指し、東北管内において率先してリアルタイム字幕放送によるニュース番組の提供を開始するなど、視聴覚障がい者向け放送の普及に多大な貢献をされました。 |